

令和3年度第1回沖縄県食品ロス削減推進会議【議事概要】

日時：令和3年4月30日（金）10:30～11:30

場所：県庁6階第2特別会議室

出席：玉城知事、謝花副知事、金城知事公室長、池田総務部長、松永企画振興統括監、松田環境部長、名渡山子ども生活福祉部長、大城保健医療部長、崎原農林水産部長、友利産業雇用統括監、宮城文化観光スポーツ部長、金城土木企画統括監、金城教育長

- 1 開会
- 2 議長（知事）あいさつ
- 3 議題

(1)「沖縄県食品ロス削減推進計画」策定に向けた考え方について

事務局から資料に基づき説明を行った。

出席者から次のような発言（及び事務局の説明）があった。

沖縄県版の食品ロス削減計画を作る必要がある。全庁横断的ということなので商工担当の副知事も構成員とすること。

家庭からの食品ロスについて、一般廃棄物の所管は市町村である。関係団体の市町村会だけでなく、人口の多い市町村（那覇市、沖縄市、南城市など）を構成員に入れて、地元市町村の問題であるという認識を市町村にも持ってもらうため、複数の市町村を構成員に入れることを検討いただきたい。

事務局説明：検討する。

計画期間は令和3～12年度となっている。県の基本計画である沖縄21世紀ビジョンの中に本計画は入るのか。

事務局説明：「食品ロス削減」について策定作業中の次期計画（案）の項目に入れ調整中である。

県民会議の参加団体について、食品ロス削減の推進体制の中で、より具体的な取組の中で意見を求めたい団体が参画してほしい。

事務局説明：検討する。

県庁でもそうだが、お互いの日々の生活や、接種カロリーとの関係と仕事との関係もでてくる。できれば、連合などの労働関係団体の、それぞれのワークオブライフの関係もつなげてメンバーを募ってはどうか。

事務局説明：検討する。

21世紀ビジョンとの整合性について、当然、食品ロスとSDGsの関係性も書かれてくるので、沖縄県のSDGsの推進方針も十分踏まえた上で取り上げていけば、当然21世紀ビジョンとも整合がとれるような関係性になるので、そこを考慮すること。

(2) 食品ロス削減の取組状況について (関係部局)

環境部、農林水産部、子ども生活福祉部から次の取組等について説明があった。

おきなわ環境教育プログラム集による食品ロス問題に関する普及啓発。

今年度糸満市において食品ロスに係る実態調査を実施予定。

家庭からでる一般廃棄物中の食品ロスについて市町村と連携して対応が必要となる。

規格外や未利用の農水産物の活用の促進。

食品リサイクル法に関する食品資源の再生利用等の促進。

フードドライブ in 県庁の実施。

おきなわ子ども未来ランチサポートの取組。沖縄子ども未来県民会議との連携。

(3) 今後の策定スケジュールについて

事務局より今後の策定スケジュールの説明を行った。

出席者から次のような発言があった。

食品ロス削減推進計画の決定方法及び計画期間を整理すること。

骨子案に盛り込む内容は、国が示している施策の6項目をベースとした県の取組、数値目標ということになる。

県計画が市町村計画の上位計画的な位置づけとなっている。市町村との連携が重要となってくる。

4 議長 (知事) 閉会あいさつ

5 閉会